

火事だ！



D級消火ポンプ

だれでも
カンタン

で初期消火！！



① 防火水槽に吸管を入れる



② ポンプで水を吸い上げる



③ ホースを伸ばす



④ 消火！



① 防火水槽に
吸管を入れる

② ポンプで水
を吸い上げる

③ ホースを
伸ばす

④ 消火！

安全な消火
活動のために

1 防火水槽に吸管を入れる

① フタを開ける



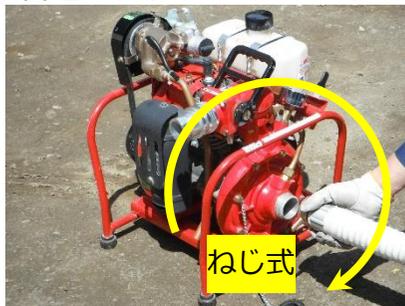
消火栓カギをカギ穴に差し込み、フタを持ち上げて、横にスライドする

⚠ 腰に注意!

ひざを曲げて、腰を低く。

⚠ 足の挟まれ注意!

② 吸管をポンプにつなぐ



吸管をポンプにつなぐ

⚠ 確実に結合!

緩んでいると吸水できません

③ 吸管を水槽に入れる



吸管をまっすぐ伸ばして、水槽内にしっかり沈める

⚠ 転落注意!

水槽は深いです

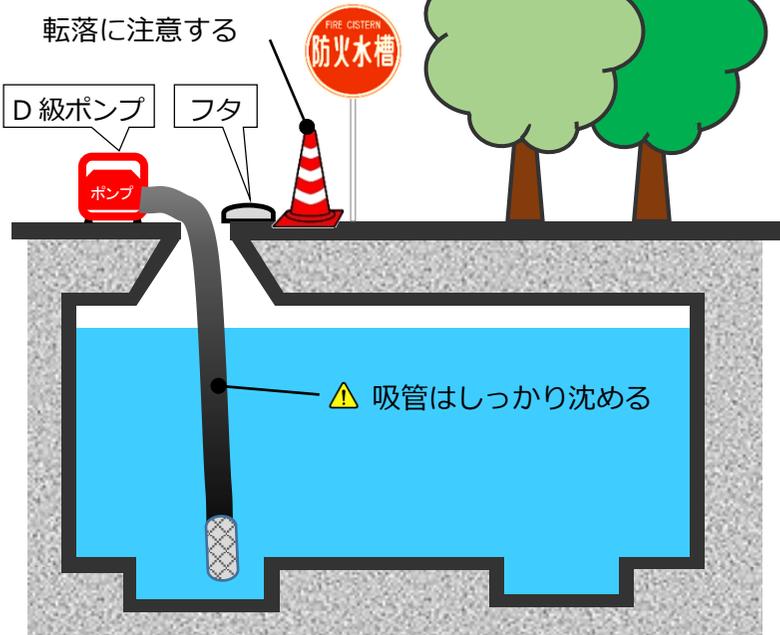
防火水槽とは？

公園や学校などで見かける これが「防火水槽」 です。



防火水槽の断面イメージ

⚠ 水槽は深いので、
転落に注意する



防火水槽以外の消防水利

「消防水利」標識は、池、川、プールなどにも掲げられています。

① 防火水槽に
吸管を入れる

② ポンプで水
を吸い上げる

③ ホースを
伸ばす

④ 消火！

安全な消火
活動のために

2 水を吸い上げる

① 燃料コックを開く



燃料コックを開き、エンジンに燃料を送る

② スロットルレバーを「始動」に



スロットルレバーを「始動」に合わせる

③ スターターロープを引く



スターターロープを一気に引き、エンジンをかける

⚠ 後方確認！

ひじを後ろの人にぶつけないように注意する

① 防火水槽に
吸管を入れる

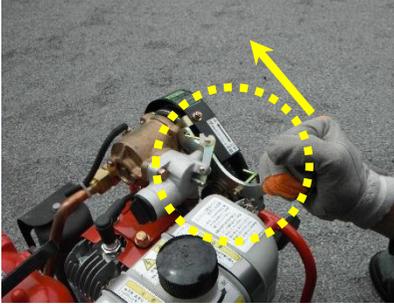
② ポンプで水
を吸い上げる

③ ホースを
伸ばす

④ 消火！

安全な消火
活動のために

④ 吸水レバーを「吸水」側に



吸水レバーを「吸水」側に倒し続ける

⑤ 吸水レバーを戻す



前方の排水パイプから連続的に水が出ているのを確認したら、吸水レバーをもとの位置に戻す

D級消火ポンプ 各部の名称



3 ホースを伸ばす

① ホースを伸ばす



ホースを転がして伸ばす

⚠️ ホース1本=20m

火災現場までの距離に応じて2本目のホースも伸ばす

② ホースとポンプをつなぐ



ホースをポンプの放水口に差し込む

⚠️ 確実に結合！

ホースは、一度引っ張り、確実に結合されたか確認する

③ ホースと管そうをつなぐ



管そうをホースに差し込む

⚠️ 確実に結合！

ホースは、一度引っ張り、確実に結合されたか確認する

① 防火水槽に
吸管を入れる

② ポンプで水
を吸い上げる

③ ホースを
伸ばす

④ 消火！

安全な消火
活動のために



ホースを無理に引っ張らない！

ホースを無理に引っ張るとD級ポンプの放水口が破損する可能性があります。

ホース延長中は、**D級ポンプ側のホースを腰で押さえましょう。**



ホースの延長方向に足を前後に開き、ホースを押さえると、姿勢が安定します。

ホース延長中の確保姿勢

D級消火ポンプによる初期消火 イメージ



4 消火！

- ① 「放水はじめ！」と合図する



放水担当者（管そうを持つ人）が、手を上に挙げ「放水はじめ！」と合図する。

⚠ 放水担当者は、管そうから離れない

相手が見えない場合は、誰かに伝えてもらいます。

- ② ポンプの放水ハンドルを開ける



「放水はじめ」の合図を確認したら、放水ハンドルをゆっくり開き、全開にする。

⚠ 操作はゆっくり

- ③ 管そう先端のノズルを回し、放水！



水が来たら、ノズルを回して放水する。

⚠ 放水の反動力があるので、姿勢をしっかり保つ

放水圧力の調整

⚠ 調整操作はゆっくり

放水圧力が低い場合は、スロットルレバーを高圧側に操作し、圧力調整します。



① 防火水槽に
吸管を入れる

② ポンプで水
を吸い上げる

③ ホースを
伸ばす

④ 消火！

安全な消火
活動のために

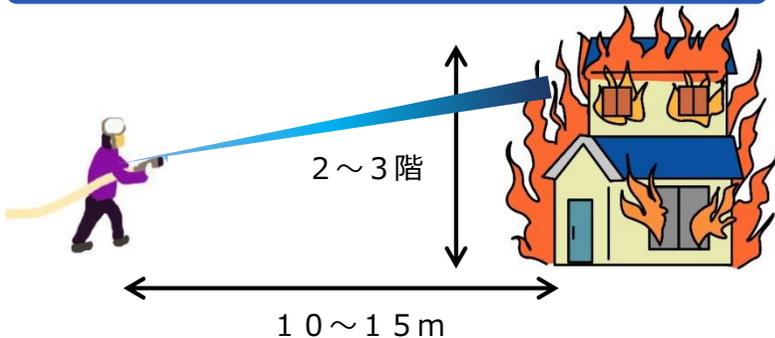
⚠ 水の反動力に備えた「正しい放水姿勢」



管そうは、目標に向け、腰の位置でしっかりと保持しましょう。

足を前後に開き、前傾姿勢をとると、水の反動力が抑えられ、姿勢が安定します。

D級消火ポンプによる放水距離 めやす



※ホースの本数、気象状況などの各種条件により前後します

安全な消火活動のために

重要! 活動時は「自分の身の安全が第一」

服装

炎の熱や落下物から、身を守りましょう。



付近の人の応援を求める

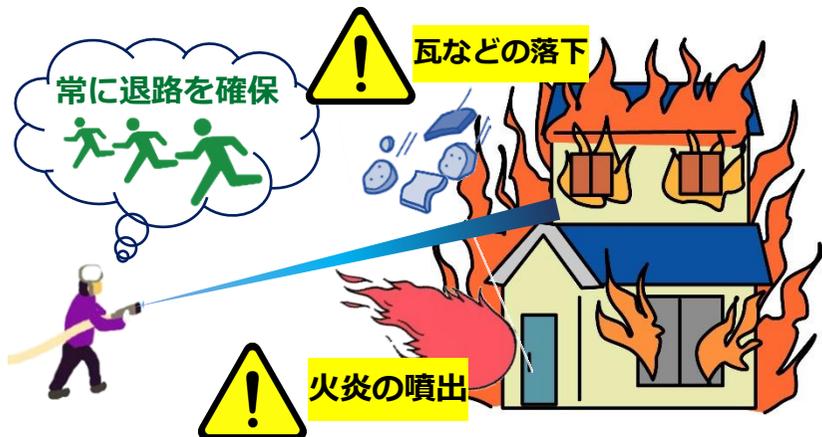
人数が多くなれば、活動しやすくなります。



燃えている建物に近づきすぎない

燃えている建物に近づきすぎると、やけどやケガをするおそれがあります。

イザという時の逃げ道を確保しながら、路上や屋外から放水します。



風が強いときは、風上から

風が強いとき、風下には火が回る危険があります。安全な風上側から放水します。



① 防火水槽に
吸管を入れる

② ポンプで水
を吸い上げる

③ ホースを
伸ばす

④ 消火！

安全な消火
活動のために

D 級消火ポンプ 必要機材リスト



D 級消火ポンプ	吸管	消火栓カギ
 <p>吸い上げた水を放水するポンプ</p>	 <p>水を吸い上げる管</p>	 <p>防火水槽のフタを開ける道具</p>
ホース	管そう	
 <p>1本 = 20m</p>	 <p>直射・噴霧・停止の切替ができる</p>	

(出典) 東京消防庁：見て、知って地域で実践！！初期消火マニュアル（平成 25 年 8 月）